



会長 佐藤 友彦 幹事 櫻井 武志

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

佐藤 友彦

皆様、こんにちは。本日もお忙しい中、例会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。

前回、例会でお話させて頂いた内容は紛争予防・紛争解決月間という事で紛争や戦争の定義や現在、世界で起こっている紛争等をお伝えしました。また、その中で紛争の解決や関連した事項について支援している機関・団体もご紹介しましたので改めてそこに触れさせて頂きたいと思えます。

まずは JICA です。こちらは(独)国際協力機構という正式名称で ODA=政府開発援助を一手に引き受けている団体です。事業予算として15兆円程で運営され一般からも投資を受けつけており毎年500億円程度の利益を上げている組織であります。また、セーブザチルドレンという団体は文字の通り、子供を守る為の組織であり、世界の紛争地域にて当たり前の教育を受けられない子供たちを支援する目的で活動しています。そして、有名な所で言うと国境なき医師団や国境なき奉仕団といった組織があります。その他、ユニセフ等世界中には多数の支援団体が存在します。多くの団体ではネット決済にて低額より寄付が出来ますので是非、最も身近に行える国際奉仕としてご検討してみてください。結びに本日は地区より国際奉仕の卓話にお越し頂いております。本日の例会が皆様にとって、実り多きものになります事をご祈念してご挨拶に代えさせて頂きます。

ありがとうございました。

幹事報告 無し

連絡事項

1. 次週は祝日休会となります。3月の例会は、1日、8日、15日、22日の通常例会で、29日は規定により休会となります。皆様お間違えの無いようお願いします。

スマイルボックス

会員誕生日 青木義美君(2/19)

田中重光君(地区社会国際奉仕副委員長・茅ヶ崎中央ロータリークラブ)

田中克典君(地区社会国際奉仕委員・小田原北ロータリークラブ)

本日は、地区社会国際奉仕委員会の卓話となります。何卒宜しくお願い致します。

深澤昌光君

本日、地区社会奉仕委員会の田中重光様と田中克典様に卓話をお願いしました。お忙しいところ有難うございます。

高杉尚男君

12日、我が家のお稲荷様の初午を執り行いました。今年は伊藤会員に参拝頂きました。

伊藤伸之君

12日、高杉会員の初午をお参りさせて頂きました。

青木義美君

明日から熱海の子供達50人連れて長野でスキー、ボード教室です。雪が残っているか心配です。

佐藤友彦君 正装で出席出来ず申し訳ございませんでした。2月23日はロータリーデーなので全員でスマイル。

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 2名

会員 22名 欠席4名(免除者0名)

出席率 81.82%

前回の修正出席率 90.91%

前々回の修正出席率 68.18%

事前メイクアップ 0名

ビジター

田中重光君(地区社会・国際奉仕委員会副委員長・茅ヶ崎中央 RC)

田中克典君(地区社会・国際奉仕委員会委員・小田原北 RC)

皆様こんにちは。本日は地区社会・国際奉仕委員会が設置した新たな情報インフラ「リソースネットワーク」のお話をさせていただきます。

・リソースネットワーク

国際奉仕活動を支える新たな情報インフラとして、地区社会・国際奉仕委員会は年度はじめより「リソースネットワークワーキンググループ」を設けて議論を尽くし、このほど「リソースネットワーク」を設立いたしました。リソースネットワークによって地区内での活動主体となる各クラブがこのネットワークへ参加することによって、国際奉仕活動に必要な情報、つまり国際奉仕活動に関わる様々な「専門知識・関連情報」や「活動実績事例」へのアクセスが容易となります。

・リソースネットワークの構成

リソースネットワークは3つのコンテンツで構成されています。

1. 国際奉仕活動の各分野に精通している人の推薦のお願い
クラブが国際奉仕活動を実践するに際し、その遂行のために必要な人材を確保することは大変重要です。リソースネットワークはその課題を解決するための有意義なツールとなります。つまりリソースネットワークへ登録された人材と国際奉仕活動の実践を目指すクラブがマッチングされれば、クラブ、人材双方に大きな可能性が開かれます。しかしリソースに蓄積がなければネットワークが十分な効果を発揮することはありません。各クラブによる国際奉仕活動の円滑な実践を実現するリソースネットワークの充実のためには、各クラブからの人材の推薦もまた重要となります。

リソースネットワークでは「国際奉仕活動の各分野に精通している人」として以下の項目を列挙し、該当する(項目を有している)人材の推薦を受け付けています。

- ・プロジェクトの計画と実施:地域調査の実施、成果の測定と評価に関する知見
- ・ロータリーの7つの重点分野における専門知識
- ・ロータリー各補助金制度の経験:補助金申請、受領資格、申請手続き

- ・外国語の堪能な人:特に英語以外の地域言語
- ・海外のカウンターパートとなるクラブの紹介:米山奨学生や学友会のネットワーク
- ・国際奉仕活動の具体的な経験やスキルが豊富な方
- ・その他

2. クラブによる国際奉仕活動・事例紹介

リソースネットワークでは主に直近で実施された国際奉仕活動のクラブからの報告を閲覧することができます。事例はカテゴリー別(グローバル補助金や地区補助金の利用ケース、あるいはクラブ単独資金での事例など)にまとめられ、各種事例は各クラブの新たな国際奉仕活動の挑戦に役立てられます。

3. 伝言板

各クラブが国際奉仕活動を計画するにあたり、必要となる様々なリソースに関する問い合わせを行える場として「伝言板」があります。伝言板では国際奉仕に関する質問・相談を受け付けている他、自クラブだけでは実施できないプロジェクトに関して他のクラブの参加を呼びかけるなど、情報の輪を広げる手段としても活用が期待されます。なお投稿された内容は、個人情報への配慮などから非公開とすることがあります。

・リソースネットワークへの接続方法

リソースネットワークは国際ロータリー第2780地区ホームページ(<https://rid2780.gr.jp/>)内「会員ポータルサイト(会員の方はこちら、をクリック)」を開き、会員ポータルサイトメニューバー(左側ダークグレーのバー)「会員用ツール」→「リソースネットワーク」と順にクリックすることで閲覧できます。また地区内各委員会の紹介欄の中から「地区社会・国際奉仕委員会」をクリックすると、リソースネットワークの創設の目的と主旨、さらには研修会の内容を閲覧できます。ページ下部には「国際奉仕リソースネットワーク」のボタン(青色)があり、こちらからも上述のリソースネットワークに接続できます。

リソースネットワークは様々な情報の発信源であり、利用するのは皆さんです。リソースネットワーク充実のため、生きた情報の提供と、国際奉仕に関わる情報の共有を始めましょう。リソースネットワークを国際奉仕活動を支える新たな情報インフラとして、各クラブにてご活用いただければと思います。

ありがとうございました。